

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 4 月 4 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (4/4 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力*	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h	20.1	106.6 kPa abs	A系： 0.16 vol %
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.17 vol %
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	33.6	6.24 kPa g	A系： 0.07 vol %
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.07 vol %
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 3.5 m <sup>3</sup> /h	32.6	0.27 kPa g	A系： 0.15 Vol %
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.14 vol %

\*：絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (4/4 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	15.0
2号機	循環冷却システム	運転中	16.2
3号機	循環冷却システム	運転中	14.5
4号機	循環冷却システム	運転中	23

：各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設 [ 雑固体廃棄物減容 処理建屋 ( 高温焼却炉建屋 ) ]	3/22 14:16 ~ 移送実施中

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系\*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。

\*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

#### < 4 . 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (4/4 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)
運転状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスをみて 断続運転	水バランスをみて 断続運転

\* フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8 ~ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/3/30 9:56 ~ 多核種除去設備(ALPS)の3系統(A~C)のうちA系統において、水処理設備で処理した廃液を用いた試験(ホット試験)を開始。
- 4/4 5:23 頃 多核種除去設備(ALPS)が、誤操作により停止。停止後、現場確認を実施したが異常がないことから、6:33 系統の残水処理を開始。残水処理開始後の運転状態に異常なし。  
多核種除去設備の系統の残水処理を 4/4 17:00 頃に終了する予定。  
再発防止対策の検討を行っており、対策を行った上で、運転を再開する予定。

#### < 5 . その他 >

- ・H23/10/7 ~ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- ・H24/4/25 ~ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- ・H25/1/8 ~ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- ・H25/4/3 15:55 正門に設置された連続ダストモニタにて、放射能高の警報が発生。本警報が発生したため、構内において全面マスク着用を指示。  
現場にて空気中のダストサンプリングを行い、分析をした結果、検出限界値( $5.4 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$ )未満であることを確認。現場にて採取した空気中のダストサンプリングの分析結果および、交換した連続ダストモニタの指示値に問題がないことから連続ダストモニタの故障と判断。また、当該連続ダストモニタに関して、放射能高警報発生時に採取していた連続ダストモニタろ紙の核種分析を行ったところ、有意な核種が検出されておらず、放射性物質は集塵されていないことを確認。その後、当該地点において、交換した連続ダストモニタの指示値は、 $1.8 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$  であり、問題のない値であることから、20:10、全面マスクの着用指示を解除。なお、正門以外の構内に設置してある連続ダストモニタの指示値に異常なく、モニタリングポストの指示値に、有意な変化はなし。
- ・H25/4/4 2号機原子炉格納容器ガス管理システムのチャコールフィルタ・粒子状フィルタのサンプリングを実施。
- ・H25/4/4 2号機原子炉建屋排気設備でのダストサンプリングを実施。
- ・H25/4/4 共用プールで点検を実施していた乾式貯蔵キャスク1基を、共用プールからキャスク仮保管設備へ輸送。
- ・H25/4/4 キャスク保管建屋に貯蔵していた乾式貯蔵キャスク8基のうち1基を、キャスク保管建屋から共用プール建屋へ輸送。
- ・H25/4/5 5号機原子炉建屋天井部穴の閉止について、閉止箇所の健全性を確認するため、原子炉建屋の気密性確認を実施する予定。

以上